

# 宮崎北支部 第30回定時総会 採択議案

## 第1号議案 2023年度(第29期)の活動を振り返って

### 1、はじめに

新型コロナの5類移行を受け、人、物流と様々な部分においてコロナ禍以前の環境に戻ってきました。経済の回復も順調に進んできました。長引く戦争と円安など長期にわたり続く問題など身に染みた1年となりました。

サプライチェーンの課題が我々の周りの経済にも大きく、影響することが気になると共に、我々の足元の経済を見れば続く原材料の高騰と日本全体に及ぶ『人手不足』、2024年問題の働く環境の変化など成長の足かせになってきている1年でした。続く困難の中にも、わが宮崎北支部の会員は様々な場所で、その活動を止めることなく『学び』を続けてきたことは大いに評価されることだと思います。2023年度の『振り返り』は2023年度の活動方針に沿って記述していきます。

### 2、「会員が参加したくなる活動 — 例会の開催」を振り返って

#### 全体テーマ『学びと実践』

- 2023年度最初の例会(7月)は、報告者・座長・室長のお願いがうまくいかなかったことが原因で中止にせざるを得ませんでした。幹事会では、今後このようなことがないように準備を進め、強靱な企業づくりに向けての学びの場をつくっていくことを確認しました。皆さん例会等の活動は幹事会だけでつくっていくものではないことをご承知かと思えます。皆さまのご協力を得て活動を運動へと繋げていくことが大切です。
- 9月例会と12月例会においては、各幹事同士の連絡報告、またつくりこみの時点から各幹事、グループ長の積極的な参加への促しを行いました。会員への幹事の連絡担当者への役割分担など行い、例会のつくりこみを行うことで、例会当日、各参加者が学び実践を促すことのできる例会とすることができました。
- 全体例会参加率目標において会員の40%参加をめざしましたが19.7%との結果となりました。例会へのお誘いが電話やメールでの連絡が動員目的の連絡ばかりになっているということが原因であると考えます。2024年度は会員との接し方、関わり方において、より良い関係性をつくるための活動が必要です。

### 3、「経営指針成文化と実践および交流活動—経営指針経営実践報告会」を振り返って

#### テーマ：『経営指針の成文化』の促進活動

- 経営指針により強靱な企業づくりに対して6月、8月、2月と実践体験の報告をもとに経営指針が経営において不離一体であるということを知りました。『経営指針をつくる会』へは、理念編に4名、方針・計画編に4名の会員が受講しました。
- 新会員への声掛けを行い、経営指針の位置づけと経営指針の重要性をどのように伝えるか、これからの経営指針経営に取り組む会員を増やしていくかが大事です。

### 4、「産官学金との連携および他団体との交流活動」を振り返って

- 『宮崎北高校』との連携事業も2023年度で2年目を迎えました。2022年度に協力してもらった会員企業の参加もあり、8月に行われた顔合わせにおいては宮崎北支部より19社19名の方達が参加し、高校生との交流が行われました。また、12月の『地元企業研修』発表会においては宮崎北支部より21社24名が参加し、「地域に根差す中小企業」ということを学生に伝えることができました。協力企業においては、若者の考え方や思いを知ることができた活動となりました。2024年度も『宮崎北高校』との連携事業が2023年度と同じスケジュール、同じ生徒数で行われます。協力企業を増やししていきたいと考えます。地元企業の認知度を増やす取り組みと学生の視点から見る付加価値増大のために、2024年度は宮崎北高校とのさらなる連携が重要になってきます。

### 5、「第32回みやざき中小企業経営フォーラムへの関わりについて」を振り返って

- フォーラムウィークとして初めての試みで開催されました。宮崎北支部の担当分科会を10月16日に開催するにあたっては支部が一丸となり、参加目標88名を上回る91名が参加しました。分科会で学びを深めた後に、6名の新しい仲間を迎えることもできました。ただZoomでの参加者においては、報告のみで退室されるなど課題もあり、2024年度においては報告者の生の経営体験報告に対し、グループ討論でより深い学びに繋がることを伝えていきたいと思います。

## 6、「会員同士の『絆』を深める活動」を振り返って

- 「知る会」において新会員への声掛けを行い、「労使見解」についての読み合わせを行い、同友会がめざす企業像について理解を深めました。

入会間もない会員に声掛けし、関係性を深めることはできましたが、入会して3年以内に活動に参加されていない会員にも参加してもらうことも重要です。声掛けや企業訪問などを行い、参加を促す活動も含めて戦略的な取り組みが必要です。

- 地区会では、同じ地区にこんな人、こんな事業をしている人がいるんだと知る地区間の交流を深めていきました。地区会で入会を決めた新会員さんもあり、今後も交流を深めることの重要性を感じる活動となりました。

一方で会歴の長い会員の参加が減ってきているという課題もあります。支部全体での巻き込みが重要で、参加してもらうことで会員同士の交流も深まり、支部ひいては県を盛り上げることにもつながります。2024年度は多くの会員で交流を深めていきましょう。

- 交流会においては会員の社員さん達の参加もあり、活発な交流が行われました。
- 望年会は、12月例会と合同で行い、ゲストとの交流も活発に行われ、入会宣言に繋がるなど盛会となりました。

## 7、「全国行事に積極的に参加していこう」を振り返って

- 広島青全交への参加など、2024年に開催される宮崎青全交に向けて、積極的な参加がありました。

主体的に参加することで、会員にとっては支部での学びでは経験できない学びもあります。全国行事の誘致ということでグループ長をはじめ様々な役が出てきます。宮崎北支部としてもつくり込みから関わっていきましょう。

## 8、「宮崎北支部広報・情報発信活動」を振り返って

- 『宮崎北支部だより』の発行を継続し、宮崎北支部の活動内容を会員に情報発信を行いました。
- 同友会HPの刷新によりSNSの拡散など各会員により行われるようになりました。情報提供者が限定されているとの状況もあり、今後は他会員さんからの情報提供を行うことでさらなる認知に繋がっていきましょう。

## 9、「会員140名をめざして」を振り返って

- 例会やフォーラムにおいて、ゲスト参加を促し新しい仲間が22名（期首支部会員比17.5%）増えました。しかし、残念ながら7名（期首支部会員比5.6%）の退会がありました。結果的には、期末目標140名に対して、141名と目標を上回ることができました。22名の入会者があった要因としては、例会等の行事にお誘いするだけにとどまらず、常日

頃から、経営のこと、同友会のことを話していたこともあります。悩んでいる経営者が近くにいたら、寄り添い話を聞いて、学びあう場として例会等にお誘いしましょう。7名の退会者の退会理由としては、「会活動に参加できないから」という理由がほとんどでした。会活動にお誘いする関係だけではなく、経営のことを話して、時間がなくても参加したくなるような場をつくっていきましょう。

今後は入会者がある反面退会者もあるとの現状を踏まえ、在会員において会活動への参加を促し関係性とさらなる学びを深めるために2024年度も活動をつくっていきましょう。

## ＝ 2023年度（第29期）活動の記録 ＝

### 1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	126	125	125	124	124	124
入会数	0	2	0	0	0	1
退会数	1	2	1	0	0	0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
125	130	128	128	131	132	
6	0	0	3	1	9	22
1	2	0	0	0	0	7

\* 期末会員数141名

### 2. 例会、地区会、学習会等の開催

#### 第28回定時総会

5月18日(木) ホテルマリックスで 38名

「外部環境の変化を迎え撃つ・自社を変革する」

(株)おりなす建材 代表取締役 那須久司氏  
(県北支部)

内訳：宮崎北37名(29.6%) + 理事1名

#### 6月中央地区会

6月8日(木) 焼肉ここから宮崎店で 8名

内訳：中央地区8名(21.6%)

#### 6月東部地区会

6月8日(木) 鉄板焼き居酒屋親方で 12名

内訳：東部地区12名(28.6%)

#### 6月北部西部地区会

6月8日(木) やきとり丸平で 10名

内訳：北部西部地区10名(21.7%)

#### 6月学習会

6月29日(木) 宮崎市中央公民館で 20名

「経営指針実践経営体験報告」

井戸川建設(株) 営業統括部長 光行新哉氏

内訳：宮崎北19名(15.3%) + 会員代理1名

## 8月中央地区会

8月7日(月) 台風6号の接近に伴い中止

## 8月東部地区会

8月7日(月) 台風6号の接近に伴い中止

## 8月北部西部地区会

8月7日(月) 台風6号の接近に伴い中止

## 8月学習会

8月22日(火) 宮崎市中央公民館で 17名

「指針なくして採用なし！～経営指針と求人採用は不離一体～」

かわさき屋(株) 代表取締役 川崎勇樹氏

内訳：宮崎北17名(13.7%)

## 9月例会

9月22日(金) 宮崎市中央公民館で 42名

「成長を実感し、安心して働ける職場をつくる～社員一人ひとりが学び、知識と技術を塗り重ねていく～」

(有)サンエク 代表取締役 白川良一氏 (宮崎南支部)

内訳：宮崎北29名(23.2%) + 他支部7名 + ゲスト4名  
+ 会員企業1名 + 会員代理1名

## 10月交流会

10月26日(木) 宮崎エースレーンで 15名

内訳：宮崎北11名(8.5%) + 会員企業3名 + 家族1名

## 12月例会

12月5日(火) 宮崎市民プラザで 33名

(会場30名 + Zoom 3名)

「好きを強みに変え、売上2.5倍～継続と変革の10年～」  
欧風パンリビエール 代表 押川裕一郎氏

内訳：宮崎北27名(21.1%) + 他支部4名 + ゲスト2名

## 12月望年会

12月5日(火) 天空焼きUTAGEで 31名

内訳：宮崎北26名(20.3%) + 他支部3名 + ゲスト2名

## 2月学習会

2月20日(火) 宮崎市民プラザで 11名

「企業変革支援プログラムVer 2の入力を完了させて、  
経営指針の学びと実践を継続していこう！」

(有)東栄空調 代表取締役 東郷浩二氏

内訳：宮崎北11名(8.3%)

## 2月中央地区会

2月29日(木) AUBE.cafe CUATROで 9名

内訳：中央地区9名(24.3%)

## 2月東部地区会

2月29日(木) 鉄板焼き居酒屋親方で 13名

内訳：東部地区12名(27.3%) + ゲスト1名

## 2月北部西部地区会

2月29日(木) やきとり丸平で 9名

内訳：北部西部地区7名(13.5%) + ゲスト2名

## 3月例会 (宮崎南支部との合同例会)

3月25日(月) アリソンホテル宮崎で 55名

「地域と共に次の100年へ～サイドピボットで広がり続ける自社の可能性～」

(有)パルアンドペア 代表取締役 金子隆二氏

(県北支部)

内訳：宮崎北20名14.9% + 宮崎南20名24.7% + ゲスト5名 + 他支部10名

## 新会員オリエンテーション

4月18日(火) 宮崎市民プラザで 13名

「はじめての同友会」

井戸川建設(株) 営業統括部長 光行新哉氏

内訳：新会員3名 + 役員10名

7月24日(月) 同友会ネットワークセンターで 21名

『『労使見解』の読み合わせ』

(有)財務経営サービス 代表取締役 中村健一郎氏

内訳：新会員5名 + 役員6名 + 会員9名 + 他支部1名

11月9日(木) 宮崎市民プラザで 11名

『『労使見解』の読み合わせ』

(有)財務経営サービス 代表取締役 中村健一郎氏

内訳：新会員3名 + 役員7名 + ゲスト1名

3月22日(金) 宮崎市民プラザで 8名

『『労使見解』の読み合わせ』

(有)財務経営サービス 代表取締役 中村健一郎氏

内訳：新会員1名 + 役員7名

## 3. 学校との連携活動

8月30日(水) 宮崎北高校で 25社25名

生徒と企業顔合わせ会

内訳：宮崎北支部19社19名 + ひむか支部5社5名 + 高鍋信用金庫1社1名

12月6日(火) 宮崎北高校で 28社32名

探究活動「地元企業研修」発表会

内訳：宮崎北支部21社24名 + ひむか支部6社7名 + 高鍋信用金庫1社1名

1月31日(水) みやざき中央支援学校見学会 13名

内訳：10社13名

## 4. 幹事会の記録

第1回 5月18日(木) ホテルマリックスで  
参加：8名(72.7%)

第2回 6月13日(火) 宮崎市中央公民館で

参加：9名(81.8%) + 理事1名 + 青年部会幹事1名

第3回 7月11日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：8名(72.7%)

第4回 8月8日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：11名(100%)

第5回 9月12日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：10名(90.9%)

第6回 10月10日(火) 同友会ネットワークセンターで  
参加：9名(81.8%)

第7回 11月14日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：7名(63.6%)

第8回 12月12日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：9名(81.8%)

第9回 1月9日(火) 宮崎市中央公民館で  
参加：10名(90.9%)

第10回 2月13日(火) 宮崎市中央公民館で  
幹事会前90分 役員研修会  
役員研修会出席：6名(54.5%) + 次期幹事予定者1名 + 人が育つ会社づくり推進協議会より2名  
参加：6名(54.5%) + 次期幹事予定者1名 + 理事1名

第11回 3月12日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：7名(63.6%) + 次期幹事予定者3名

第12回 4月9日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：7名(63.6%) + 次期幹事予定者4名

第13回 5月14日(火) 宮崎市民プラザで  
参加：9名(81.8%) + 次期幹事予定者4名

## 5. 支部だよりの発行

第104号	6月16日(金)発行	第105号	8月25日(金)発行
第106号	10月11日(水)発行	第107号	12月4日(月)発行
第108号	1月16日(火)発行	第109号	2月20日(火)発行
第110号	4月15日(月)発行		

## 第2号議案 2024年度(第30期)の活動方針 と活動計画

### 1. はじめに～スローガン『原点回帰』～

長きにわたるコロナ禍はようやく収束の兆しを見せ始めましたが、社会環境は大きく変化し、以前の日常に戻ることはありません。戦争、物価高騰、大増税、少子高齢化による人手不足など、経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況です。

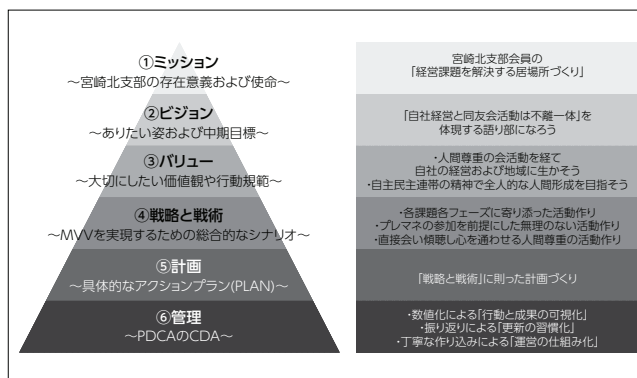
しかしながら、このような状況下でも、我々経営者は「なんのために経営をするのか？」という根源的な問いを常に意識し、前に進んでいく必要があります。

そして今年、全国行事である青全交が宮崎で開催されます。青全交のスローガンである「集え！変革者」は、変化の激しい時代を生き抜くために、共に学び、成長していくという強い意志を表明しています。宮崎同友会一丸となってこの青全交を成功させるためには、「青全交はなんのためにやるのか？」「宮崎で開催することにどんな意義があるのか？」「同友会活動はなんのためにやるのか？」という『原点回帰』し、改めて同友会運動を行っていく必要があります。

### 2. 2024年度の活動方針の背景

- ①宮崎北支部の振り返り（前期を中心に過去も含めて）
- ②県の方針（2024年度活動方針およびVision30th）
- ③スローガンである「原点回帰」の3つの背景を踏まえてつくっています。

#### 2024年度宮崎北支部方針ヒエラルキー



#### (1) ミッション=宮崎北支部の存在意義および使命

##### 宮崎北支部会員の 「経営課題を解決する居場所づくり」

- 他支部のためでも、会運営をするためでも、友達をつくる場所でもありません。自社経営を良くするためであり、そのための居場所づくりが本来の存在意義です。経営課題を解決する場所をつくり、会社が発展すればいずれ地域の雇用や納税が生まれ、地域の発展につながります。

#### (2) ビジョン=ありたい姿および中期目標

##### 「自社経営と同友会活動は不離一体」を 体現する語り部になろう

- Vision30thよりアレンジ。

- ミッションでも述べましたが、同友会活動を行う理由は「自社を良くするため」です。自社が良くならないなら活動を行う理由はないし、宮崎同友会を発展させることが目的ではありません。同友会で学ぶ→会社が良くなる→それを他の経営者に伝える→入会して会社が良くなる→自然と入会者が増え同友会が発展する、という好循環で発展することが本来の形です。

### 《2024年度目標》

会員を141名から150名にします。

- Vision30thの17ページより。違いに学ぶため毎月他支部との比較を行います。
- 「学び合いの場」をもっと深めるためには、会員を増やすことが必要です。同友会運動促進のためにも、会員数を前期より10%増やします。

PDCAの仕組み化に努める。

- 例会等のアンケートの改善。自由記入方式を少なくし選択式を増やすことで、回答率の向上を計る。またデジタル化することで、事務局の作業負担軽減やSDGsの観点から紙使用を減らし、アンケートをデータ化し回答を分析・分類することで経営課題等を明確化し例会づくりや活動づくりに生かします。
- 次年度へも即座に対応できるように、活動方針の振り返りを半期で行います。

一人ひとりの会員に会活動が届くような情報発信に努める。

- SNSでの情報発信の継続はもちろん、SNSを見ていない方のためにも、会員訪問の強化をします。

事務局負担の軽減に努める。

- 事務局の問題に支部でも取り掛かる。具体的には、例会と幹事会以外は幹事だけで運営できるようにし、アンケートなどの印刷物も極力減らすようにする。

### (3) バリュー=大切にしたい価値観

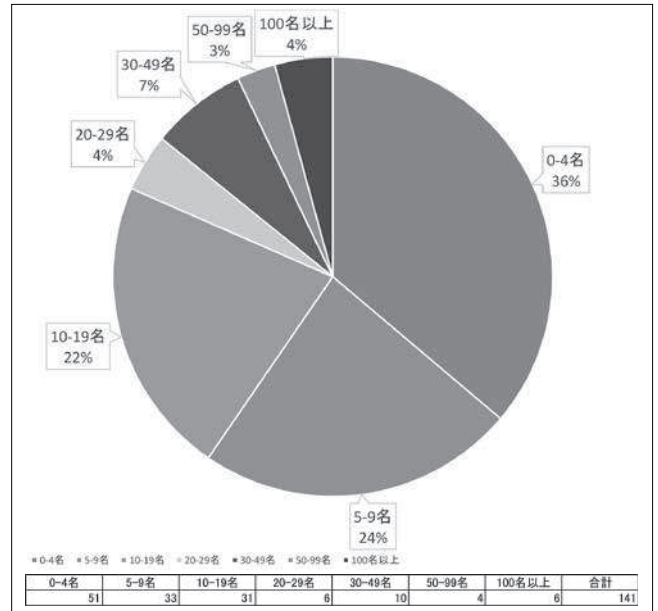
人間尊重の会活動を経て、  
自社の経営および地域に生かそう。  
自主民主連帯の精神で、  
全人的な人間形成を目ざそう。

### (4) 戦略=ミッション、ビジョン、バリューを実現するための総合的なシナリオ

各課題、各フェーズに寄り添った活動づくり  
プレマネの参加を前提にした無理のない活動づくり  
直接会い傾聴し心を通わせる人間尊重の活動づくり

### 社員9人以下の会社規模の方に寄り添った活動づくり

- 同友会には様々な業種、規模、地域の経営者が集まります。それだけに多種多様な経営課題を抱えていて、1つの活動ですべての方の課題を解決することは到底できません。下図参照。



このデータからも分かるように、60%は10人未満の会社なので、社員9人以下の会社規模の方に寄り添った活動づくりが求められます。

またこのデータからいろんなことが推測できます。

**プレマネが会活動に参加者および幹事会を運営する前提で無理のない活動方針をつくる。**

具体的には、

- 幹事会や打ち合わせなどは2時間以内で終わらせる。
- 例会およびその他の会は2時間30分以内を目ざす。
- 会議をするときは、議論なのか報告なのか確認なのかなど主旨を明確にし、資料などの準備も万全にしておく。
- 報告をつくり上げる時は、会社規模10人以下の時の経営姿勢の話に厚みを持たせる。
- そして何より大事なことはプレマネであることを尊重する。プレマネの経営課題を尊重した上で、同友会活動に巻き込んでいく。
- 「役得」という言葉だけに躍らされずにほんとに、役をする人が一番得をする活動をつくる。

**社員が10人以上の方はどこで学べばいいのか？**

- 「社員9人以下の社長のための活動する」と断言すれば、社員が10人以上の方は「私たちはどこで学べばいいのか？」という疑問や、もしかしたら様々な誤解を生んでしまうかもしれません。しかし学び方は人それぞれですし、同友会活動は支部活動だけではありません。フォーラムなどの県の行事もあれば、全国行事もありま

す。事業承継に課題があれば青年部で学ぶこともできます。

- 役員として学ぶのなら、規模感の大きい理事会や専門性の高い委員会もあります。
- そして何よりはビジョンでもある「語り部」として学ぶことです。大きな会社で経験したこと、県外で学んだこと、大きな役で学んだことを伝えたり、教えたりすることが何より学べるのではないのでしょうか。

### (5) 計画=具体的なアクションプラン

#### 戦略に則った計画づくり

- 詳しくは活動計画図および活動方針を参照。
- e-doyu未回答の方へ自動的に再送付を行う仕組みを構築し、活動の参加促進を行います。
- 案内チラシについては、視覚的に訴求力を向上したデザインのものを作成し、例会等の参加促進を行います。
- アンケートで分析した情報にて活動でのテーマの共通課題を持つ会員の方へ参加促進を行います。

### (6) 管理=計画が実行できているか

#### PDCAチェックと仕組づくり

数値化による「行動と成果の可視化」  
振り返りによる「更新の習慣化」  
丁寧なつくり込みによる「運営の仕組み化」

#### 数値化による「行動と成果の可視化」

- 会員プロフィール（ひとりひとりの課題を可視化）
- アンケート（選択式を増やしデータ化）
- 目標設定（支部や他支部などあらゆる視点で違いに学ぶ）

#### 振り返りによる「更新の習慣化」

- アンケート（参加者による振り返り）
- 幹事会（幹事による振り返り）
- 代表幹事会議（代表幹事による総合的な振り返り）

#### 丁寧なつくり込みによる「運営の仕組み化」

- 幹事会、例会、交流会などすべての活動において、目的を明確にし、科学的根拠に基づいた準備をし、改善を繰り返し、役得になるような運営をします。

## 3. 具体的な活動方針

### (1) 宮崎青全交【同友会全国三大行事】

開催月日：9月19～20日

参加目標：80人

- 宮崎北支部の参加目標は80人です。2023年度の宮崎北支部例会への支部会員参加者数は25名でした。この数字が

いかにハードルの高い数字であるかが認識できます。

- 目標を達成するには、9月までの活動はすべて青全交に運動させ、青全交に一点集中し、さらに多くの仲間に主体者になってもらわないと達成できません。
- 戦術としては会員訪問です。人間尊重の経営を実践する意味でも一人ひとり会員さんと向き合う機会を設けます。
- グループ長研修も複数回あるので、この機会に主体的に参加し質の高いグループ討論を学びあいましょう。
- PDCAを回してしっかりと次につなげましょう。

### (2) 第33回みやざき中小企業経営フォーラム【県行事】

開催月：2月

参加目標：支部会員の30%（約40名）

- 2024年度のフォーラムは青全交の開催に伴い2月開催（通常は10月前後）に開催です。
- また、青全交で25,000円の出費をした半年後に6,000～8,000円の支払いを再度お願いするのは、精神論だけでは乗り切れません。「原点回帰」に則り、フォーラムは何のためにするのか？を考える絶好の機会でもあります。

### (4) 会員訪問活動 — 会員プロフィール作成および新会員個別オリエンテーション

強化月間回数：3回

開催月：4月、6～8月、1～2月

目標：2024年度は支部会員の30%（約40名）の会員プロフィールを作成

- 2024年度は会員訪問活動を例会よりも大事な活動と位置づけました。なぜならば、宮崎北支部は2024年度会員拡大目標を見事に達成しましたが、その反面多くの退会者もたくさん出ました。その退会された方を見るとほとんどが、コミュニケーションが取れてない方ばかりでした。また同友会は「経営課題を解決する場所」にも関わらず、その経営課題を共有できていません。その反省を踏まえて、2024年度は直接会いに行き、会員の経営課題を聴き「会員プロフィール」で課題を共有し、会員一人ひとりと向き合っていきます。
- さらに2024年度は9月に青全交があります。金額も25,000円前後と決して安くはありませんので、直接会ってより丁寧な説明が必要になってくるので、より一層会員訪問が大事になります。

個別オリエンテーション

開催日：入会后3週間以内。随時。

目標：すべての入会者。

- 既存の会員訪問に加えて、新会員には直接お伺いし、個別で「新会員オリエンテーション」を実施します。せっかくやる気になって入会しているのに2～3か月も待たせては、信頼関係など築けません。

## (5) 支部例会

～いい例会、いいグループ討論、いい懇親会～

開催回数：5回

開催月：6月、7月、8月、11月、3月

参加目標：支部会員の参加率30%（約40名）+ゲスト4名以上

- 2024年度の宮崎北支部の例会参加率は目標40%に対して、平均で19.7%でした。その反省を踏まえて今回は必ず達成できる30%に設定しました。
- 2023年度は4回の開催でしたが、2024年度は青全交のブレ報告も例会として開催し、5回の開催になります。
- 2024年度の宮崎北支部のスローガンは「原点帰帰」です。何のため？誰のため？をしっかりと考えながらつくり込みを行っていきます。
- 特に「誰のために？」という点においては、ゲストや活動が浅い会員目線で、同友会用語を多用し、置いてけぼりにしないように配慮したり、会員のメインターゲットは9名以下の会社なので、その時期の話に厚みを持たせたつくり込みを行います。
- 仲間を増やすという大きな目標も忘れてはいけません。そしてそのテーマは「いい例会、いいグループ討論、いい懇親会」なので、アンケートもまでも含め、しっかりとつくり込んでいきます。

## (6) 指針経営推進学習会

開催回数：合計3回 開催月：8月、11月、2月

- **企業変革支援プログラム入力講座**  
開催回数：2回 開催月：8月、2月  
目標：企業変革支援プログラム登録数を支部会員の30%にする。
  - 2024年度の指針経営推進学習会は、2023年度好評だった企業変革支援プログラム入力講座を行います。期間は半年に1回に設定し、入力済みである方も定期的に学べるようにします。
  - 第20期「経営指針をつくる会」《理念編》4名、《方針・計画編》4名の受講者数をめざします。
- **共同求人委員会コラボ学習会「指針なくして、採用なし！」**  
開催回数：1回 開催月：11月
  - 共同求人委員会と協働し、現代社会の一番の課題である求人採用を経営指針の目線で見える学習会を行います。

## (7) 同友会を知る会

開催回数：3回、開催月：5月、10月、3月

目標：入会3年以内の会員の80%。

- 同友会を知る会は、新規会員および活動が浅い会員目線で「何を知りたいか？」を考えながらつくり込みます。「同友会は経営課題を解決する場所」なので、「この会は

経営の悩みを話してもいいんだ。すべての活動はそれにつながっているんだ」と思っていたことが何よりも大事です。

## (8) 支部会員交流会

開催回数：計3回、開催月：6月、8月、12月

### • MANGOとコラボ — 飲食店巡り

開催回数：計2回、開催月：6月、8月

目標：参加者10～15名。新規入会各1名。

- 6月と8月になかなか参加ができない飲食業の方とつながる交流会をいたします。6月と8月に設定したのは青全交を見込んでのことなので、機運を高めるためにもぜひ楽しく活動しましょう。

### • 望年会

開催回数：1回、開催月：12月

目標：支部会員の40%（約56名）

- 2023年度は例会合同開催としましたが、抱き合わせにすると、ラフに参加したい会員の参加者が減ったので、多様性も考慮し望年会のみでの開催にします。
- ただただ楽しむだけでなく、ゲストや活動が浅い会員やご無沙汰会員の方も「やっぱり同友会っていいなあ」と思ってもらえるようなつくり込みをし、2か月後のフォーラムにつなげていきます。

## (9) 地区会

開催回数：3回、開催月：7月、10月、1月

目標：各地区10名以上

- 2023年度は地区会に参加し、入会につながるケースがあったので、参加しやすい交流の入り口としても、参加が遠のきがちなご無沙汰会員の交流の場としても最適な場所として位置づけ、開催します。
- 役員としてはただ参加して楽しむだけでなく、会員プロフィールを生かし経営課題を見つけ、各活動への参加を促していきます。

## (10) 産学官連携活動

地域との連携を目的とし、支部内の様々な機関・行政・学校等との連携を図ります。

### • 宮崎北高校「地元企業研修」

2022年度から始まったこの活動は、地域に若者を残す活動として行います。

### • みやざき中央支援学校「企業等による作業学習見学・生徒との意見交換会」

2023年度、実施されたこの機会を、支部内企業のダイバーシティ採用に向けた活動を行います。

## (11) 宮崎北支部だより

発行月：毎月

例年に引き続き「北支部だより」の発行を継続します。

内容は、支部行事開催の内容・今後の行事予定の告知・

幹事会での協議内容報告・会員紹介（特に新会員）・会員同士の情報共有等を紙面にて作成し、メール及びFAXにて支部の全会員へ配布します。

情報共有のツールは様々ありますが、永年継続してい

る「北支部だより」を、広く支部会員の方々が認知されていると理解し、会員の方を「つなぐ」重要なツールとし発行いたします。

## ■活動計画

年 月	2024年					
	4	5	6	7	8	9
支部総会		5/23開催				
支部例会① 青全交コラボ例会				開催月		
支部例会②						
支部例会③						
指針経営推進学習会					企業変革支援プログラムVer2の <input type="checkbox"/>	
同友会を知る会			支部総会 ゲストフォロー			
地区会				青全交直前 決起地区会		
支部会員交流会			MANGOコラボ 飲食店交流会		MANGOコラボ 飲食店交流会	
産官学連携活動			宮崎北高校探究活 動協力企業募集	宮崎北高校探究活動生徒 さんとの顔合わせ会		宮崎北高校探究活 動企業訪問
会員訪問	○	→				
宮崎北支部だより	○	→				

県行事・各推進協議会/委員会・青年部 行事予定

宮崎青全交						9/19.20 開催
第33回みやざき中小企業経営フォーラム						

年 月	2024年			2025年		
	10	11	12	1	2	3
支部総会						
支部例会① 青全交コラボ例会						
支部例会②		開催月				
支部例会③						開催月
指針経営推進学習会		共同求人コラボ 「指針なくして採用なし」			企業変革支援プログラムVer2 入力講座	
同友会を知る会	青全交 ゲストフォロー					フォーラム ゲストフォロー
地区会	青全交 ゲストフォロー			フォーラム お誘い		
支部会員交流会			望年会			
産官学連携活動	宮崎北高校探究活 動企業訪問	宮崎北高校探究活 動成果発表会				
会員訪問	○	→				
宮崎北支部だより	○	→				

県行事・各推進協議会/委員会・青年部 行事予定

宮崎青全交						
第33回みやざき中小企業経営フォーラム				開催		